

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	01	164380	森林資源活用事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,760	3,945		185
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	1,157	1,374		217
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	2,603	2,571		-32

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
地元産木材の建設物や燃料への利用を進める。

事業開始の背景・経緯
木材の有効活用と特用林産物の生産振興を目的に開始した。

事業概要
特用林産施設体制整備事業【R3 R4繰越明許】 0円 生産用ほだ木の購入に対する補助 安全なきのこ原木の導入支援 499千円 安全なきのこ原木の導入に対する補助 木質資源活用支援事業 2,072千円 自伐型林業や松くい虫被害木活用に対する支援 きのこ原木等処理事業 425千円 生産再開にむけた落葉層の除去を実施に対する支援 特用林産施設体制整備事業(繰越明許費) 949千円 生産用ほだ木の購入に対する補助

担当部署	13200000 農林部 農村林務	担当課長	菊池 正彦
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
森林資源活用事業 R3 2,995,928円 1. 特用林産施設体制整備事業(国庫) 0円 【R3 R4繰越】 特用林産物の経営基盤を強化し、被災地の復興を図る。 ・取組内容 生産資材(きのこ原木)の導入 ・実施主体 花巻農業協同組合、花巻市森林組合 ・事業量 ・事業費 1,900,800円(@176円/本×10,800本) ・補助額 950,400円(補助率1/2) 2. 安全なきのこ原木の導入支援 499,100円 原木しいたけ生産の振興のため、安全なきのこ原木の導入に支援する 農協等の団体が生産者に対する支援事業を行う場合に補助額の1/2を市が補助する 10,780本、499,100円 3. 木質資源活用支援事業 2,072,228円 (1) 素材搬入場所運営 1,297,208円 搬入場所において、受け入れ作業と木材管理を行う (2) 木質資源活用支援事業補助金 675,020円 運搬経費補助 木材搬入場所からチップ工場までの運搬経費に対する補助 337.51トン、675,020円 (3) 森林作業道開設事業補助金 100,000円 森林施業を行うために必要な作業道の開設に対する補助 100m、100,000円 4. きのこ原木等処理事業 424,600円 被災後、生産再開を断念もしくは規模縮小していた生産者が再度生産を再開する場合に、ほだ場環境改善のために落葉層の除去を実施する 落葉層除去300m <sup>2</sup> 、424,600円 5. 特用林産施設体制整備事業(国庫) 948,640円 【R2 R3繰越】 特用林産物の経営基盤を強化し、被災地の復興を図る。 ・取組内容 生産資材(きのこ原木)の導入

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	02	164410	森林整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		22,256	41,693		19,437
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	6,199	27,181		20,982
	地方債	0	0		0
	その他	0	5,000		5,000
	一般財源	16,057	9,512		-6,545

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

地元産木材の建設物や燃料への利用を進める。

事業開始の背景・経緯

森林の多面的機能の増進には不可欠な作業であるため

事業概要

森林整備 12,150千円  
 市有林の整備と管理  
 市有林復旧業務  
 森林整備活動支援 1,298千円  
 森林経営計画作成や施業集約化に対する支援  
 民有林保全対策 5,965千円  
 森林整備事業(補助事業)のかさ上げ補助  
 森林整備(繰越明許費) 22,280千円  
 市有林の整備と管理

担当部署	13200000 農林部 農村林務	担当課長	菊池 正彦
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

森林整備事業 41,692,968円 (R2 22,255,599円 前年度比+19,437,369円)

1. 森林整備 12,150,281円 (R2 16,603,178円 前年比+17,827,603円)

(1) 市有林等造林業務 7,803,774円  
 再造林(東晴山) 5.00ha 事業費 3,630,000円  
 下刈(大瀬川、東晴山) 7.00ha 事業費 1,650,000円  
 保育間伐(倉沢) 15.00ha 事業費 2,523,774円  
 間伐・作業道(高松、倉沢、滝田) 18.80ha、1,880m 事業費 0円  
 令和3年度繰越明許(繰越事業費11,988,900円)

(2) 市有林調査業務 0円  
 調査を要する施業箇所がなかったため実施せず

(3) 胡四王山周辺森林整備業務委託 3,632,200円  
 胡四王山周辺は市の重要な観光地であり、その観光資源である森林を守るため下刈、除伐、病害虫の駆除等を行い森林保全整備を行う。  
 業務委託 3,632,200円

(4) 抵抗性アカマツの補植 28,875円  
 重要な赤松林の保全のため、松くい虫被害に抵抗性があるアカマツの補植を行う。  
 アカマツ(コンテナ苗) 150本 28,875円

(5) 市有林の維持管理及び計画的施業 474,232円  
 市有林及び作業道の補修  
 業務委託 323,950円  
 施業管理及び研修  
 研修旅費 0円  
 公用車リース(ADバン) 150,282円

(6) 日陰坂市有林復旧 211,200円  
 令和2年7月27日の大雨により崩落した日陰坂市有林の治山工事を行う。  
 治山工事再設計委託料 211,200円  
 法面復旧工事費 令和4年度へ繰越 39,050,000円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	02	164410	森林整備事業費

事業手法の詳細 2					
<p>2. 森林整備活動支援 1,298,000円 (R2 1,481,640円 前年比 183,640円)</p> <p>森林経営計画作成促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組内容 計画作成に必要な森林情報収集、合意形成活動、森林調査、境界の確認等</li> <li>・交付額 8千円/ha × 54.81ha = 422,480円 (大迫町外川目)</li> <li>38千円/ha × 23.04ha = 875,520円 (大迫町外川目)</li> </ul> <p>3. 民有林保全対策 5,964,187円 (R2 3,636,602円 前年比+2,327,585円)</p> <p>森林整備の適切な実行を促進するため、森林整備事業で実施した再造林・下刈・除間伐等の経費に対して7~22%の高上げ補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再造林、下刈、作業道、特殊地帯(補助率22%) 5,964,187円</li> <li>・除間伐、枝打ち(補助率7%) 0円</li> </ul> <p>4. 森林整備【R2 R3繰越】</p> <p>(1) 市有林等造林業務 22,280,500円</p> <p>間伐・作業道(横志田、畑) 29.15ha、4,639m 事業費 22,280,500円</p> <p>令和2年度繰越明許、令和3年度完了</p>					

事業手法の詳細 3					
This area is currently empty in the provided image					

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	02	164470	森林経営支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		49,286	49,046		-240
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	49,286	49,046		-240

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
私有林の森林経営を促進させるため、意欲ある林業事業者の育成と森林経営計画の作成を支援する。小規模所有者については市有林を中核に、共同による森林経営計画を推進し、森林の経営管理の高度化を図る。

事業開始の背景・経緯
森林経営計画の策定状況 民有林32,225haのうち5,290ha(策定率16.4%)県全体の策定率24% 中山間の高齢化、不在村化に対応し、経営の受委託の促進が必要。森林経営管理法が平成30年5月に成立し、平成31年4月1日施行。

事業概要
スマート林業の構築 31,277千円 森林経営の推進 5,108千円 人材の確保育成 282千円 里山整備の促進 3,379千円 森林の保全 4,330千円 木材活用の推進 4,671千円

担当部署	13200000 農林部 農村林務	担当課長	菊池 正彦
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
<p>1 スマート林業の構築(林地台帳と併せた森林情報の一元管理) 31,277,165円</p> <p>(1) 森林資源情報の把握・解析 28,914,190円 【概要】市内の森林の航空レーザ計測及び解析等業務の委託及び調査用機器の導入 【内容】航空レーザ計測(大迫・石鳥谷15,000ha)、解析(大迫4,300ha) 28,347,000円 森林調査におけるドローン導入 567,190円</p> <p>(2) 林地台帳の運用 1,535,000円 【概要】林地台帳のデータ等更新業務の委託</p> <p>(3) ICT機器等導入支援 827,975円 【概要】地理空間情報やICT等の実践的な取り組みに必要な機器導入支援(補助率1/2)</p> <p>2 森林経営の推進(集約化と森林整備の推進) 5,107,993円</p> <p>(1) 森林経営の推進と集約化の促進 1,092,993円 【概要】森林経営を進めるための意向調査・個別相談及び森林経営計画作成支援 【内容】森林所有者の意向調査・説明・個別相談 個別相談用消耗品 66,216円 資料印刷製本 198,000円 森林経営促進等業務委託 665,500円 森林経営計画作成支援 区域計画集約化業務委託 0円 森林経営支援用車両 車両リース料 122,650円 車両燃料費 40,627円</p> <p>(2) 路網整備及び森林整備支援 4,015,000円 【概要】森林の集約化に必要な路網整備。 【内容】市有林との共同計画区域での作業道整備、既設林道の一部改修、既設作業道の維持管理</p> <p>3 人材の確保育成 281,561円</p> <p>(1) 森林施業プランナーの育成支援 7,000円 【概要】森林経営計画を進めるための森林施業プランナー育成補助 【補助金】対象経費の1/2(研修・受験費用、旅費、テキスト代等)</p> <p>(2) 林業労働者の技術向上等の支援 274,561円 【概要】林業労働者の技術向上や人材確保に必要な事業に支援 【内容】GISシステム運用にかかる研修会の開催 森林経営技術向上研修等開催業務委託 202,561円 消耗品 72,000円</p>

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	02	164470	森林経営支援事業費

事業手法の詳細 2					
4	里山整備の促進	3,379,000円			
(1)	里山整備等活動支援事業補助金	3,379,000円			
	【概要】	里山整備等への取り組みに対する補助			
	【交付先】	自治会等の地域住民による団体またはNPO法人等の保全活動団体 4組織			
	【内容】	研修支援2回、間伐支援11.9ha、木質資源運搬支援21トン			
5	森林の保全	4,329,534円			
(1)	山地災害等防災応急対策	4,329,534円			
	【概要】	山地災害の防災、応急対策			
	【内容】	鍋割山市有林周辺における崩落対応（業務委託）			
6	木材活用の推進	4,670,812円			
(1)	森林環境譲与税 基金積立	4,670,747円			
	【概要】	市内森林資源の循環利用と地域林業の推進			
	【内容】	植える、育てる、伐る、使うという循環利用に充てるため積み立てる。			
(2)	森林環境譲与税 積立金利子積立	65円			

事業手法の詳細 3					
-----------	--	--	--	--	--